

【注意事項】

- ・遠隔講義になったことにより、学生便覧・シラバスの内容とは変更されています。
- ・以下は、商業簿記Ⅱの履修に関する情報も含んでいます。

令和2年度前期 商業簿記Ⅰ（時間割：月曜日4限・水曜日3限）

I. 授業の目標

日本商工会議所（日商）が主催する簿記検定試験3級の合格レベルに到達すること。

II. 成績評価

1. 遠隔講義を受講して（講義の開講期間中、皆さんの都合の良い時間に視聴可能です）各回の課題と演習問題に取り組み、必ず復習をして内容を習得するように努めてください。
2. 第1クォーターの到達度確認を必ず受験してください。検定試験の可否を成績評価に反映する予定でしたが、状況が変わりましたので、到達度確認のみ（ただし、実施形式については検討中です）で成績評価を行います。

III. 注意事項

- ・商業簿記Ⅰは、商業簿記Ⅱおよび工業簿記を含む会計プロフェッショナル育成プログラムにおける入門科目に該当します。2020年度の新入生しか履修できず、来年度以降も新入生のみが履修可能な科目のため、今回の第1クォーター以外では履修できない特殊な科目です。
- ・シラバスで商業簿記ⅠはAクラスとBクラスに分かれています。遠隔講義では1クラスとして提供されます。履修の際は「商業簿記Ⅰ」（担当：後藤・高田・沼・玉野）を履修してください。
- ・商業簿記Ⅱは、商業簿記Ⅰの履修を前提とし、連続的な関連科目として提供されます。そのため、商業簿記Ⅰを履修すると、自動的に第2・3クォーターの商業簿記Ⅱも履修登録されます。ただし、第1クォーターで商業簿記Ⅰを履修した場合でも、単位の修得状況にかかわらず、商業簿記Ⅱの履修を後で取り消すことは可能です。履修の取り消しを希望する場合は、第2クォーターの履修取り消し期間中に、忘れず取り消してください。また、**商業簿記Ⅱのみの履修はできませんので、注意してください。**
- ・会計プロフェッショナル育成プログラムの科目は、履修科目の登録の上限にカウントされますので、単位数に気をつけて履修してください。
- ・テキストは、神戸大学生協でのみ購入可能（ウェブ販売）です。
- ・商業簿記Ⅱの授業は、6月29日（月）から始まりますが、講義形態（遠隔になるかどうか）および成績評価方法は未定です。
- ・1回あたりの動画は60～100分程度です。それに加えて、演習問題や課題に取り組む必要があります。他の科目に比べて総学習時間が長くなるわけではありませんが、1回ずつの演習問題に確実に取り組んでいく必要があることに注意してください。学習計画等必要な情報はBEEFにアップロードしますので、適宜確認するようにしてください。

担当：後藤・高田・沼・玉野

* 商業簿記Ⅰの履修等について、質問がある場合は高田（takada@pearl.kobe-u.ac.jp）まで連絡をください。